

七〇〇〇万年前の世界へ!

# 新オーロラを見た恐竜たち

虹色に輝くアラスカの大地

©D&Dピクチャーズ

全天周映画 (大型ドーム映像/約40分) 2024年7月9日(火)より上映開始



プラネタリウムのある科学館

倉敷科学センター

〒712-8046 倉敷市福田町古新田940  
ライフパーク倉敷内 (福田公園北隣)

TEL (086)454-0300

Web: [倉敷科学センター](#) 検索

# 雄大なアラスカの大地、 夜空を照らすオーロラ

約7千万年前、地上が多様な恐竜であふれかえっていた白亜紀。肉食恐竜・ナメグサウルスの子ども「ヌック」と、植物食恐竜・アラスカケファレの子ども「ファル」。本来決して交わらないはずだった異なる種族である2匹の、数奇な運命と絆。鮮やかなオーロラが輝くアラスカの美しい空の下、太古の昔に極地で生きていた恐竜たちの命のいのちの物語です。



ヌック

ナメグサウルスの子ども



ファル

アラスカケファレの子ども



## 北極の夏は、太陽が沈まない？

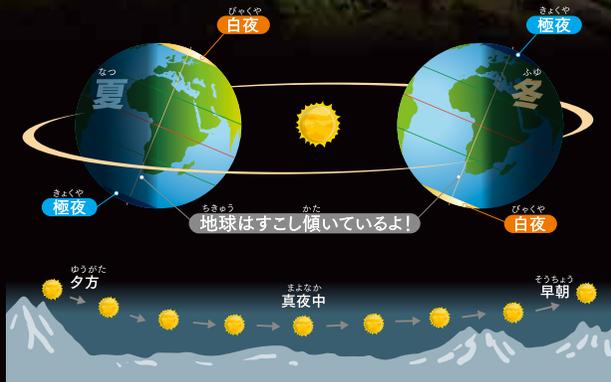
北極や南極では、一日中太陽が沈まず明るい日があり、これを「白夜」、反対に一日中太陽が沈んだまま暗い日もあり、これを「極夜」といいます。

## どうしてこのような不思議なことが起こるのでしょうか？

地球は太陽の周りを1年間かけてまわっており、そして地球自身もまた24時間で1回転しています。地球のまわっている軸(地軸)は垂直ではなく約23.4°傾いており、この傾きのために、北極では地球が1回転、つまり24時間経っても常に明るいエリアにあります。これが夏の沈まない太陽です。同じように冬は24時間経っても常に暗いエリアに位置するため、太陽は昇らず、ずっと暗いままになってしまうのです。

Point

白夜や極夜の日数は、高い緯度の場所ほど多くって、北極点では、なんと約半年間白夜と極夜が続くよ！



地球はすこし傾いているよ！

白夜の前後には太陽が地面すれすれをころがるように移動します

©D&Dピクチャーズ

全天周映画(大型ドーム映像/約40分) 2024年7月9日(火)より上映開始  
「新オーロラを見た恐竜たち 虹色に輝くアラスカの大地」

⚠️ 上映時間は日によって変わります。  
最新情報は当館ホームページか  
お電話にてご確認願います。



◆開館時間 9:00~17:15

◆休館日 月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始

◆全天周映画観覧料 ※幼児は無料(大人の保護者同伴のこと)

おとな500円/高校生350円/小・中学生250円

◆交通 国道2号線笹沖交差点から車で15分

(古城池トンネルを抜けて最初の信号を左折)

ライフパーク倉敷  
倉敷科学センター

倉敷市福田町古新田940ライフパーク倉敷内(福田公園北隣)

TEL (086)454-0300

Web: 倉敷科学センター 検索

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。